



保坂区政の与党、くらし、福祉優先の区政前進へ

2025年3月

こんにちは 川上こういちです 日本共産党

連絡先：日本共産党世田谷区議団 世田谷区世田谷4-21-27 ☎ 5432-2791

物価高騰から区民生活を守る予算に

世田谷区議会定例会が2月19日から3月27日迄行われています。区の令和7年度予算案は3996億1700万円。前年度に比べて、7・6%の増となっています。

食料品、電気代、ガソリン代など物価高騰が暮らしを直撃している中で、住民の福祉増進を図ることが地方自治体の役割であり、区民生活の実態に心を寄せて区政運営に取り組まなければなりません。

区議団は代表質問において、区民の暮らしを守ることを正面に据えた予算とすることを求めました。

保坂区長は「依然として物価上昇が続いており、区民生活は引き続き厳しい状況であると認識している…区民生活の下支えも意識しながら…持続的な自治体経営を進めていく」と答弁しました。

低所得層への区独自支援を行え

住民税非課税世帯に対し、3万円の支給が国の財源で実施され、区のホームページでは、4月3日前後に振込予定となっています。

一方、住民税非課税ラインを少し超える方からは「自分たちも生活は苦しい。支援がほしい」との声を伺っています。

これまでの支援からこぼれ落ちていく層に対し、区の独自支援を行う事を求めました。

区は「給付金の対象拡大についてはさらなる国の交付金等がない限り難しい状況だが…区民生活の影響に対し、少しでも寄り添えるような支援を図っていく」と答えました。

エアコン設置助成を始めよ

夏の猛暑は命に関わる災害級のものであり、エアコン使用はもはや必須です。

昨年夏の熱中症による区内の救急搬送は376名で年々増加し、亡くなった方は18名。自宅にエアコンが無い状態で発見された方が毎年出ています。

現在、生活保護世帯については、新たに保護受給を開始する時のみの支給であり、買い替えは支給対象外

です。低所得者へのエアコン設置補助の開始を求めました。

区長は「以前から生活保護のエアコン設置について問題提起をうけてきた。関係所管、担当副区長と相談して対策を考えたい」と答えました。

「住まいは人権」区営住宅に入れない人への家賃補助制度の検討を

世田谷区での区営住宅の募集倍率は14倍となっており、申し込んでも入る事の出来ない方がたくさん残されています。

杉並区では区営住宅に申し込んで落選した人を対象にした家賃助成制度を創設するとしています。

世田谷区でも、区営住宅の入居要件を満たしながら入居できない人を対象とした家賃補助制度をつくることを求めました。

区は「杉並区など他自治体の取り組みも参考にするとともに…安定的な住まいの確保に向けた検討を進めていく」と答弁しました。